

令和 5 年 4 月 14 日

柏市議会議長 円谷 憲人 様

議員名 北村 和之



政務活動費収支報告書

柏市議会政務活動費交付条例第13条第1項の規定により、令和4年度政務活動費に係る収支報告書及び領収書等を提出します。

1 収入

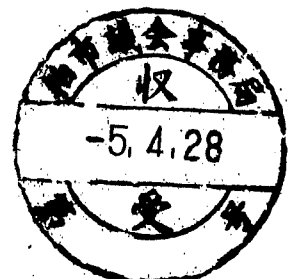
600,000 円

2 支出

科 目	金 額 (円)	備 考
研 修 費		
調 査 旅 費		
資 料 購 入 費		
資 料 作 成 費		
広 報 費	643,655	
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 所 費		
そ の 他 の 経 費		
合 計	643,655	

3 残 金

0 円





領収書等の貼付票

議員名 北村 和之

No. 1

使途科目 広報費

領収書

領収日 2022年4月21日

担当：システム

領収書番号 U412346-1

毎々ありがとうございます

北村和之

様

東京カネ印刷株式会社

120-0024 東京都葛飾区住友関屋町

3-27

TEL 03-5284-1173

FAX 03-5284-1174

お支払：ペイジー（クレジットカード）

品名 チラシライヤー：

数量 55,000 枚

金額 ¥90,890

※(税込)

(内消費税 ¥8,263 )

※ペイジー決済につき印紙の添付は省略させていただきます

領 収 証

北村 和之

様

No. 327228

金額

¥266,110-

但 4/29号 チラシ併配代として

内 訳

現

振込 ¥266,110-

小切手

消費税額等(10%)

¥24,192-

2022年4月22日 上記正に領収いたしました

株式会社 地域新聞社

〒276-0020

千葉県八千代市勝田台北1-11-16 5F

□本社 TEL.047(485)1100



営業担当印

領収書等の貼付票

議員名 北村 和之

No. 2

使途科目 広報費

領 収 証 北村 和之 様 No. 331415

金額

¥286,655-

内 訳

但 1/20号 千代田配代とシ

現金 振込 ¥286,655-

2023年1月16日 上記正に領収いたしました



小切手

株式会社 **地域新聞社**

〒276-0020  
千葉県八千代市勝田台北1-11-16 5F  
□本社 TEL.047(485)1100

営業担当印

消費税額等(10%) ¥26,060-

完全無所属

柏市議会議員・社会保険労務士

2022年  
市政  
報告

## 北村かずゆき

この柏に  
確かな未来を!

こんにちは。

コロナ出現から約2年が経過し、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置など、皆様の日常生活や仕事、学校や大学生活など多くの制約があり心苦しく思います。

今年に入り第6波の感染力が凄まじい中、多くの方々は無症状・軽症者であることや、感染者数がピークを脱し、現時点で医療が逼迫してないことは不幸中の幸いです。

今後も油断せず第7波を警戒し、基礎疾患をお持ちの方などはご留意頂き、医療逼迫状況を注視しつつ、コロナと共存しながら経済活動・文化活動・日常を取り戻すための出口戦略も必要と考えます。

私は災害・感染症・戦争など命や個人の尊厳に関わる事態の頻発に、国や行政・政治家の果たす役割はより一層増していると考えています。

下記、表面に市政情報、裏面に私の行なった一般質問の一部ですが報告書を作成しましたのでご覧頂ければ幸いです。

皆様のご健康と益々のご発展を祈念致します。

北村 和之



## 太田 新市政 始まる!

昨年11月に太田市長が誕生し、私は12月、3月議会で市長に先入観を持たず向き合ってきました。

市長は「住みやすい街ナンバーワン」を目指しています。

私も引き続き市民にとって何が良いかを常に考え「住みやすい街」へ取り組みます。

市長が表明した主な取組みを一部ご紹介致します。

◆コロナ対策（市単独で保健所を有する柏市として機能強化）※私が求めていたワクチン一括予約システム、無症状者への無料PCR検査なども導入済。

◆市立柏病院現地建て替え（前市長は老朽化を理由に移転表明も撤回、現地建て替えの判断もせず）

◆学校給食自校式維持（前市長は給食センター化をすると表明）

◆駅前送迎保育ステーション、こども広場、子ども図書館の設置

◆柏駅と市役所・ウェルネス柏間のバス運行

◆危機管理部（庁内危機管理と防犯防災を担当）と広報部の新設（市民や市内外へ「伝わる」情報発信の体制を強化）

特に広報部の新設は、市民への情報発信をしっかりとするという姿勢を評価します。

今後の太田市長の柏市発展へのご尽力に期待します。



## 気候危機宣言（ゼロカーボンシティ）表明

もしかしたら、市民の皆様にとって気候変動・温暖化問題は今日明日の生活のなかで「自分事」と感じられないかもしれませんが。

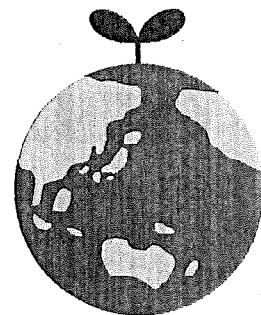
しかし、私は生物が生きる地球環境や将来世代を考えるうえで重要で、特に政治がリーダーシップを発揮し取り組むべき優先課題のひとつだと考えています。

多発する自然災害、未知なるウイルスでの感染症、食糧危機など、気候変動や温暖化により更なる猛威を振るう可能性も否定できません。

この度、柏市は2050年までに二酸化炭素排出をゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指し宣言しました。

具体的には「太陽光発電設備の設置」、「公共施設のLED化」、「公用車の電気自動車化」などです。

この取組みが全ての問題を根本的に解決する訳ではないですが、市民の皆様も気候変動・温暖化に関心を持ち、出来ることを無理なく一緒に始めてみませんか。



## 令和4年度 予算成立 1,485億円

3月議会は予算議会とも言われ、次年度の予算や方針が決まる重要な議会です。

令和4年度一般会計予算は前年度から4.9%増の1484億7千万円となり、特別会計と企業会計を合わせ2,573億円となりました。

一般会計歳入のうち、市税は46%を占め686億円となっており、前年より33億円増です。

また、市税を含めた柏市が自主的に調達する自主財源は820億円（歳入の55%）となっています。（残りは国や県の交付金など）

この限られた予算の中で多くの事業を実施しますので、今後とも必要な事業の取捨選択など、しっかりとチェックしてまいります。

## 広報かしわ等 全戸配布実施表明！

現在、広報かしわ・選挙公報・議会だよりは主に新聞購読世帯への折込みで、約6割の世帯にしか届いておらず、私はワクチン、防災、福祉など命に関わることや市政情報はホームページへの掲載や一部の市民に届けば良い性質のものではないと考えます。

Q、行政と市民の双方向の情報伝達や情報公開は重要で、広報かしわ等の全戸配布実施を要望するがどうか。

A、ポスティングによる全戸配布は広報かしわ等の配布率向上や市民の皆様が市政情報を入手する手段として有効と考えており、実施に向けて具体的に検討する。

全世帯を目標に安定的にお届けできるようスピード感を持ち取り組んでいく。

## がん対策取組み日本一のまち柏、表明！

生涯で2人に1人が罹患するがんを予防・早期発見・対処して、行政として最大限の支援をすることは多くの市民の健康に繋がり、不安や苦しみを緩和できると考えます。

Q、コロナ禍でのがん検診受診控えや検診率低下も危惧しており、検診率向上の行政仕掛けや支援も含め、出来得る限りの対策に取組み、「がん対策取組み日本一」を目指すことを要望するがどうか。

A、柏市がん対策基本条例にのっとり医師会・医療機関等の連携を図り、がん予防及びがん検診率向上等、具体的ながん対策の取組みを進めていく。

がん対策を充実させる事は行政として大切なことと考えており、がん対策日本一を目指していけるように頑張りたい。

## 校庭、市内グラウンド 芝生化推進

市民からボール遊びや居場所が欲しいなどのお話もあり、私も様々な用途での子どもや大人・地域の方々の居場所づくりが必要と考えていました。

今後、市内グラウンドや校庭の芝生化推進に粘り強く取り組んでいきます。

Q、市立グラウンドや校庭芝生化推進は市民や地域にとって大きな需要や価値を感じ、要望致しますが、芝生化に向けてメリット・デメリット、課題などをどのように認識しているか。

A、芝生化メリットとして、ヒートアイランド現象の緩和や景観の向上、雨水流出低減、心身のストレス軽減、リラックス効果、運動時の怪我の緩和、人々の活動が活発になり健康増進効果や地域の活性化やコミュニティの形成が期待される。

続き▶

## AED 屋外ボックス設置を！

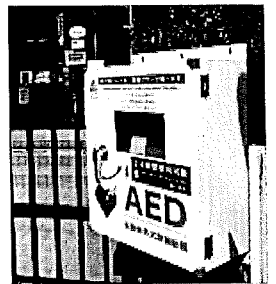
現在、市内に649箇所あるAEDのうち、公共施設では全て屋内に240台設置されています。

AEDを実施した救命ではデータ上で生存率向上が証明されており、24時間使用できない状態に問題意識があります。

Q、公共施設内に設置のAEDをボックスを利用して屋外設置とし、近隣センターや公民館、学校など、休日や夜間に使用できない状態から24時間いつでも使用できるAEDとし、市民の命を救える体制の構築を要望するがどうか。

A、市はAEDの使用及び心肺蘇生法の実施促進に努め、効果的かつ効率的な設置を計画的に推進するよう求められており、屋外設置も有効と考えている。

設置効果の高い公共施設の各施設と引き続き設置の協議を重ねていく。



AED 屋外ボックス

現在、学校のAEDは校舎内に設置しており、学校関係者や校庭開放団体の市民の利用を考えれば、屋外設置は有意義である。

## あとがき

プーチンの暴挙に対し非難すると同時に、平和を望む世界の国や人々の連帯を願います。

現実に第三次世界大戦や核戦争をここまで近く感じることに、改めて今日の日本の平和が世界の微妙なバランスの中で保たれていることを強く実感致します。

正直、今自分自身に何ができるのか無力感も感じます。

この度、私は4月から明治大学公共政策大学院に入学し、公共政策や地方自治、財政、福祉等々を学ぶことにしました。

将来、学んだことを少しでも柏市に還元できるよう大変ですが頑張ってます。

災害・感染症・戦争など不確実な時代だからこそ、自分の役割や立場で出来ることに全力で取り組むことが結果的に社会全体の役に立つと信じています。

課題は、整備や維持管理に手間や費用が掛かると認識している。

今後の公共施設の芝生化には施設の状況や利用目的、市民ニーズを踏まえ、それぞれの施設管理者がどのような対応が可能か検討を行うことが必要である。

北村  
かずゆき  
連絡先

〒277-0054  
千葉県柏市南増尾2-8-27  
TEL 090-7414-4205  
MAIL k.kitamura1981@gmail.com

北村  
かずゆき  
プロフィール

1981年 9月16日生まれ  
1994年 酒井根小学校 卒業  
1997年 酒井根中学校 卒業  
2000年 東洋大学付属牛久高校 卒業  
2003年 拓殖短期大学経営学部経営学科 卒業  
2006年 社会保険労務士試験合格  
社労士事務所勤務

2010年 ~2014年 参議院議員秘書  
2015年 柏市議会議員選挙 初当選  
2019年 柏市議会議員選挙 2期目当選  
2022年 明治大学公共政策大学院 在学中  
【現在】 社会保険労務士としても活動中  
【趣味】 登山、読書、マラソン

2022年 第5号  
市政  
報告

完全無所属  
柏市議会議員・社会保険労務士

# 北村かずゆき



この柏に  
確かな未来を!

こんにちは。

コロナウイルスが出現して3年が経過し、皆様の生活や価値観、社会のありかたも少なからず変化をしていると感じ、また、ロシアのウクライナ侵攻を始めとした国際的な情勢不安や物価高騰、温暖化による極端な気候や災害など、今こそ政治の果たす役割や、市議として自分に何が出来るかを考えています。

また、私は人と会うことが制限されがちなコロナ禍であったからこそ、大学院で公共政策を学ぶことを決意し、現在、平日夜と土曜日の日中は授業を受け、自分自身に挑戦しています。将来学んだことを少しでも柏市に還元できれば幸いです。

今年の8月には柏市議会議員選挙も予定されており、今後とも人の役に立てるよう「人と命に向き合う」政治信念で頑張っております。

下記、表面に市政情報、裏面に私の行なった一般質問の一部ですが報告書を作成しましたのでご覧頂ければ幸いです。  
北村 和之

## 電子図書館サービス開始 子育て世帯支援給付金 出産・子育て応援交付金

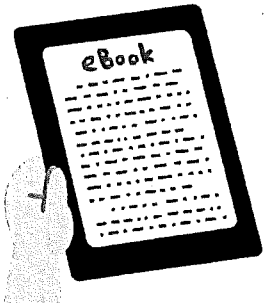
図書館へ足を運ばずに、スマートフォンやパソコンなどから、24時間いつでも電子書籍を借りることができるサービスを、令和5年1月24(火)13:00から約1万タイトルの電子書籍を揃えて開始します。

(同日、専用ホームページ開設予定)

日中の来館が難しい方や、文字の拡大・読み上げなどデジタルのメリットも活用することで、市民の読書の利便性向上に繋がればと考えます。

現在、約84万冊の蔵書のうち、一部の電子化であります。書籍の更なる電子化の充実を求めてまいります。

(これまで通り紙の本も借りられます)



コロナの影響や、物価高騰で経済的負担増の子育て世帯の生活支援のため、市内在住18歳までの子がいる世帯を対象に、子ども1人あたり1万円の市独自の「子育て世帯支援給付金」が決定しました。なるべく早い時期の給付を目指し、柏市HPや広報かしわ等でお知らせします。申請不要の方と必要な方(市から案内送付)が居ますが、概ね3月上旬以降に順次給付予定です。

また、上記の市独自給付金とは別に、国の補正予算で成立した、妊娠から出産・子育てまでの「出産・子育て応援交付金」として妊娠届け出時(令和4年4月1日以降出産対象)に5万円、出生届け出後に5万円、合計10万円の現金給付も2月に予定されており、詳細は今後市HP等で案内予定。給付対象となる方で事業開始日において、既に出産または妊娠届をすでに提出している方には市から郵送にて、事業開始日以降に対象となる方には妊娠届出時に窓口にて、必要な案内を行う予定です。

## 振り込め詐欺対策 自動通話録音機配布

卑劣で巧妙化する振り込め詐欺が市内で多発しており、令和4年1月～11月では被害件数108件(前年比33件増)、被害額約3億(前年比約1億8000万円増)となっています。

80歳以上の被害者が多い状況を踏まえ、80歳以上の希望者を対象に自動通話録音機を無償で配布・設置することとし、令和5年2月に対象世帯へ通知を送付し、受付開始予定です。

社会全体の見守りで、犯罪被害者を生まないような世の中としたいものです。



### 9月議会質問内容

- ①人口減少社会への認識
- ②ハザードマップ改定 全戸配布
- ③公共施設 AED ボックス設置
- ④校庭 公園の芝生化
- ⑤がん患者へのウィッグ補助
- ⑥トイレ洋式化 温水洗浄便座
- ⑦コロナ後のまちづくり
- ⑧若者支援政策
- ⑨生活保護扶養照会、生活保護のしおり

### 12月議会質問内容

- ①アピアランスケア がん患者ウィッグ補助
- ②全庁、全市民、救命講習 受講体制の確立
- ③市民参加、まちづくり推進のための調査
- ④地域ブランディング
- ⑤雑草対策、所有者不明土地、空き家
- ⑥リカレント教育、職員支援
- ⑦生活保護のしおり改定状況

緑字部分については裏面に質問内容を掲載しています!

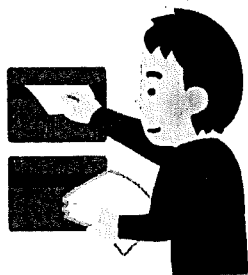
## 広報かしわ全戸配布 実現！

初当選時から思いを持って取り組んできた、広報かしわ等の全戸配布ですが、この度、広報かしわが本年5月からA4冊子スタイルで月1回の発行となり、全世帯にポスティングが開始されます。

これまでは新聞購読世帯への折込みでしたが、新聞購読世帯の減少で、多くの世帯に届いていない状況に問題意識がありました。防災や福祉、ワクチンなど、その時々には柏市が一番伝えたい情報が記載されている広報誌は、一部の市民へ届けば良いものではないと考えていました。

就任して約1年が経過した太田市長ですが、広報部の新設や地域ブランディングなど、情報発信や「伝える行政・伝える政治」という意識が高いことを評価致します。

議会だより、選挙公報に関しては、全戸配布の決定はなされず課題は残りますが、引き続き早期の実現を求めてまいります。



## 雑草対策、所有者不明土地

例年、地域の方から「裏手の空き地や隣家から雑草やツタが越境して困っている」などのご相談も多く、どうすれば住民が快適に暮らし、根本的問題解決を図れるのか、問題意識があります。住民関係希薄化や家族構成の変化、高齢や障害で対応困難など、高齢化の進展で益々問題化することも予想されます。

この度、国で雑草対策にも関わる民法の大改正がなされ、4月から施行されます。(相隣関係の見直し)

主に、

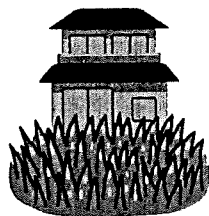
- ①隣地使用権のルール見直し(越境してきている木や枝の切除のため隣地を一時的に使用可能)、
- ②越境した竹木の枝の切り取りルール見直し(催促しても越境した枝などが切除されない場合、越境された側の土地所有者が自ら枝を切り取ることが可能に)

このような大きな法改正を市民へ周知していく事も必要と考えます。

また、所有者不明土地という社会問題もあります。

所有者不明土地は、相続登記がされないことを要因として、九州の面積と同等以上あり、私有地の約2割は所有者把握が難しいと言われ、公共事業や復旧・復興事業が進まず、土地の利活用の阻害要因となり得ます。

続き▶



## がん患者ウィッグ補助 アピアランスケア

これまで「がん対策取組み日本一のまち柏」を目指し、議会で幾度も取り上げてきましたが、実施までは至らず悔しく、一方で千葉県内では最近になり実施する自治体もあり、現在5市町村が実施、千葉県でも補助事業の検討が見受けられます。

アピアランスケアとは外見の変化に対するケアで、抗がん剤治療などでの脱毛や、手術での身体的な欠損など、外見の変化をケアし患者の苦痛を和らげるものです。

Q、脱毛や外見変化によるがん患者の精神的苦痛、経済的負担や療養生活向上、就労等の社会参加の面でも行政としての支援は意義や必要性が高いと考える。アピアランスケア、ウィッグ補助助成を柏市として実施して頂くことを要望するがどうか。

A、がん治療による外見の変化、特に頭髪、まつげ、眉毛等の脱毛の副作用については、患者の心理的な負担も大きく、アピアランスケアとして、医療機関や支援機関において取組みがなされていると承知している。がん患者ががんと共生して生活し、その支援の実施については、国や県の動向を見ながら見極めていく。

### あとがき

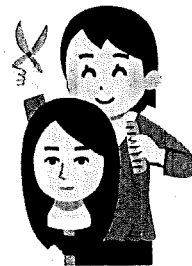
議員になり嬉しかったことはいくつかありますが、政策が前に進むことは喜びです。とりわけ、市長が「がん対策取組み日本一のまち柏」を目指すとの答弁や(前市長も現市長も)、今回の広報かしわ全戸配布実現は嬉しかったです。高い投票率や高い関心のなかで進む政治や行政は一定の緊張感を生み、ひいてはそれが住民のためになると考えています。

一方で、議員となって一番辛いことは仕事の大変さより、私に関わり、応援をしてくれた方々の訃報に接することでした。多くのご縁を頂くなかで多くの訃報に接し、その度に耐えがたい苦痛を感じます。それでも、感謝の気持ちを持ちながら前向きに頑張っております。

今後、相続機会の増加により更なる問題となること予想され、強い問題意識で質問に立ちました。

Q、毎年発生する地域における雑草への対応、対策状況について認識はどうか。

A、雑草などに関する苦情や相談は年間300件あり、管理については土地の所有者や管理者に対し適切な管理を促すことを基本としている。国では、管理不全土地の在り方の見直しも図られることから、制度を研究し、関係課とも連携し、制度活用について検討していく。



北村  
かずゆき  
連絡先

〒277-0054  
千葉県柏市南増尾2-8-27  
TEL 090-7414-4205  
MAIL k.kitamura1981@gmail.com

北村  
かずゆき  
プロフィール

1981年 9月16日生まれ  
1994年 酒井根小学校 卒業  
1997年 酒井根中学校 卒業  
2000年 東洋大学付属牛久高校 卒業  
2003年 拓殖短期大学経営科 卒業  
2006年 社会保険労務士試験合格  
社労士事務所に勤務

2010年 参議院議員秘書  
~2014年  
2015年 柏市議会議員選挙 初当選  
2019年 柏市議会議員選挙 2期目当選  
【現在】 明治大学公共政策大学院 在学中  
社会保険労務士としても活動中  
【趣味】 登山、読書、マラソン